

科目名		就職実務II			
担当教員		野口 信彦		実務授業の有無	
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		就職に向けた準備をして実行に移す。就職を希望する学生はすでに内定が出ているが、進学を希望する学生にとって、就職活動は年度末頃にはすでに始まっていることを念頭に置き、それに向けて取り組む。様々な仕事をイメージして自分に適した業種・職種を見つけ出す。適宜企業見学・現場見学なども行い、更なる意識付けを図る。今後必ず必要となる文章作成に向け適宜レポート提出課題を出題する。更にコミュニケーション能力検定を実施し、合格を目指す。			
学習目標 (到達目標)		自分を知り、企業を研究して、自分に適した業種・職種を見つけ出す。就職活動の流れをイメージして、実行に移す。また、ここでは社会人としての振る舞いを意識し、この点でも評価の対象とする。更に、コミュニケーション能力検定の合格を目指す。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		Success・配布プリント			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	ビジネスマナーの習得			社会人としての振る舞いを意識する。言葉遣い・報連相・電話のマナー・メールのマナー・メモの活用等これらが当たり前に行えることを目指す。	
2	コミュニケーション能力検定の実施(評価テスト1)			社会で必須となる様々な場面でのコミュニケーション能力を身に付ける。コミュニケーション能力検定の過去問を実施し、合格を目指す。	
3	ポートフォリオの作成(評価テスト2)			就職活動で必要となるポートフォリオを完成させる。新たな作品を随時納める。納得のいく作品集となるよう、構成なども工夫する。最終授業日での評価とする。	
4	就職活動を行う際の注意事項の再確認			就職活動を行うにあたり、学校への様々な提出書類を再確認する。更に、企業訪問やガイダンス等に参加する際の注意事項、企業とのアポイントメントの取り方等を再確認する。	
5	就職活動の心構えと具体的な動き方の再確認			働く意義・企業が求める人材・身だしなみを再確認し、企業を選定する方法、及び、受験の方法を再確認する。	
6	進路に対する個別相談			学生に対して個別の進路相談を随時行い、考えを把握する。また、情報提供やアドバイスを適切に行い、就職活動・進路研究を円滑に進めていく。	
7	求職者に対する就職活動へのフォロー			学生の希望を確認した上で、求人等の情報を提供し、就職活動をする際の書類チェック、面接指導などを必要に応じて随時行う。	
8	建築士専攻科への進学希望者へのフォロー			資格取得後の就職を検討し、将来のビジョンを見つけることで、学習への意欲につなげる。進学前のポートフォリオ完成を促し、進学後の就職活動の円滑化を図る。	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	取組姿勢			求職者は既に就職活動を始めていますが、進学希望者にとって、就職のイメージはまだ明確でない人も多いと思います。しかし、就職活動は2年次の終わりころから本格的に始動します。その時になって慌てることの無いように準備を進めていきましょう。進路については迷っている人も多いと思いますが、まずは自分がどうしたいのかを明確にしましょう。明るい未来を想像して楽しみながら取り組みましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		設計事務所に11年勤務			